

研究課題 (テーマ)	ものづくり研修会・コンテスト in パステル工房		
研究者	所属学科等	職	氏 名
代表者	機械システム工学科	教授	真田 和昭
			パステル工房企画管理運営委員会委員 パステル工房スタッフおよび兼任スタッフ
研究結果の概要			
1)ものづくり研修会 機械製作実習を履修している学生と履修していない学生を広く募集するため、以下の2コースを8月末～9月上旬に計画した。結果、Aコース24名が参加した。 ・Aコース(3日間)：NC旋盤(CAMソフト)・汎用旋盤・フライス盤 (機械/知能/情報)参加者14(前)+10(後)=24名 ・Bコース(2日間)：ボール盤・コンターマシン・高速切断機・放電加工機 参加者0名 2)ものづくりコンテスト ものづくりコンテストは、ものづくり研修会参加者から10名が参加し、9月26日(火)に実施した。与えられた課題に対し、時間内に解決する応用力を競技した。 内容：研修会Aコースに準拠(参加者10名)： 1. フライス加工：部品図を基に、角素材に雄部品(凸部)と雌部品(凹部)を作り、それらを嵌めあわせることのできる正確さを審査した。 2. CAMソフト作成とNC旋盤加工：部品図を基にCAMプログラムを作成し、真鍮製のコーラの瓶(直径20mm)を製作した。NC旋盤にて部品を加工する応用力を審査した。 これらの課題に対する治工具の段取りや加工条件などの基本的な内容は、研修会で事前に詳細手順を指導した。コンテストの結果、優秀な成績を修めたもの3名に贈賞した。 本プログラムでは、ものづくりの基礎的技能の習得を行い、その技能を高め、研究活動に活かす事を目的に行われ、以下の成果が得られた。 1)卒業・修士論文研究・共同研究等で加工技術の習得を必要とする学生に、短期集中でものづくり技術を伝授し、実践的な技術者を目指した教育を行った。 2)ものづくりコンテストの実施により、技能の定着を促進した。 3)機械製作実習(2学科)の教育成果を定着させた。			
今後の展開			
今後も、ものづくり研修会・コンテストの実施により、ものづくりの基礎的技能の習得とその技能向上を図り、研究活動に活かすことができるように定着を促進する。			